

23

昭和九年四月

保健衛生調査會第十八回報告書

中絶等業の法規の改正の報告書 (一四九)

結核予防法(修正案) (一八八)

結核予防法(修正案) (一八八) 二七五

結核予防法(修正案) (一九九) 二二五

結核予防法(修正案) (七四九) 一九九回報告書一七頁再出

農林部(五九)

国立公衆衛生院附属図書館



00018294

保健衛生調査會



例言

本篇ハ昭和八年四月ヨリ昭和九年三月ニ至ル本會議
事ノ概要ニツキ輯録シタルモノナリ

昭和九年四月

保健衛生調査會

国立公衆衛生院附属図書館	
受入先	松浦十四郎先生寄贈
受入日	98. 3. 10
登録番号	72667
所在	
Library, National Institute of Public Health	

新編 衛生調查會

保健衛生調查會第十八回報告書

目次

第一章 職 員	一頁
第二章 特別委員	五
第三章 議 事	三
第一節 會議ノ回数	三
第二節 議案ノ件數	三
第三節 總會議事大要	三
第四節 特別委員會議事大要	六
一 乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル特別委員會	六
二 農村衛生狀態改善ニ關スル特別委員會	六
三 結核豫防ノ根本的對策ニ關スル特別委員會	七

會 長 員

一 番 二 番 三 番 四 番 五 番 六 番 七 番 八 番 九 番 十 番

第一章 職員

(昭和九年三月三十一日現在)

男爵	山	本	達	雄
伯爵	柳	澤	保	惠
林	三	宅	鏡	一
瀨	高	川	昌	世
永	野	井	岩	三
磐	瀨	井	雄	一
富	富	田	隆	夫
富	士	藤	愛	郎
宮	川	川	次	郎
米	川	川	次	郎

昭和九年三月三十一日現在

三
二
一

二十番
二十三番
二十四番
二十五番
二十六番
二十一番
二十二番
二十三番
二十四番
二十五番
二十九番
三十番
三十一番
三十二番
三十三番
三十四番
三十五番
三十六番
三十七番
三十八番
三十九番
四十番
四十一番

安井英二
光田健
赤松小寅
長與又郎
三田定則
内野仙一
岡村龍彦
北嶋多一
戶田正三
佐伯八郎
秦佐八郎
勝田永吉
唐澤光德

二十七番
二十八番
二十九番
三十番
三十一番
三十二番
三十三番
三十四番
三十五番
三十六番
三十七番
三十八番
三十九番
四十番
四十一番

奥村鶴吉
表笠豐
三宅秀
宮入慶之助
潮惠之輔
横手千代之助
藤井真夫信
北山豐吉
栗山重信
栗津鏡清太亮
宮島幹之助
龜田豐治朗
古瀬安俊
岩住良太治
那須喜一皓

四十二番
四十三番
四十四番
四十五番
四十六番
四十七番
四十八番
四十九番
五十番
五十一番
五十二番
五十三番
五十四番
五十五番
五十六番

男爵
武藤喜一郎
津野慶太郎
田澤鏢三
國府田中
金杉英五郎
馬淵銳太郎
小泉親彦
矢野恒太郎
西野忠次郎
中川望三
小原新三
山川建
平原泰一
平井宣英
大島辰次郎

幹事

白松篤樹
藤原孝夫
高野六郎
南崎雄七
野邊地慶三

備考

臨時委員 陸軍軍醫總監合田平ハ昭和九年三月五日依願豫備役被仰付臨時委員ヲ退ク
陸軍軍醫總監小泉親彦ハ昭和九年三月二十三日臨時委員被仰付
委員 矢作榮藏ハ昭和八年十二月十八日死去

第二章 特別委員

(昭和九年三月三十一日現在)

一、衛生思想普及ニ關スル件

特別委員長

三宅秀

委員

- | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 磐 | 永 | 林 | 宮 | 内 | 北 | 佐 | 唐 | 奥 | 横 | 宮 | 大 | 伯 | 柳 |
| 瀨 | 井 | 春 | 川 | 野 | 島 | 伯 | 澤 | 村 | 手 | 島 | 島 | 澤 | 柳 |
| 雄 | 井 | 春 | 米 | 仙 | 多 | 伯 | 光 | 鶴 | 千 | 幹 | 辰 | 保 | 柳 |
| 一 | 潜 | 雄 | 次 | 一 | 一 | 矩 | 德 | 吉 | 之 | 之 | 次 | 惠 | 柳 |
| 六 | | | | | | | | | 助 | 助 | 郎 | 惠 | 柳 |

一、都市衛生状態改善ニ關スル件

特別委員長

伯爵

柳澤保惠

委員

- | | | | | |
|---|---|---|----|---|
| 高 | 北 | 潮 | 横 | 大 |
| 野 | 島 | 惠 | 手 | 島 |
| 岩 | 多 | 之 | 千 | 辰 |
| 三 | 一 | 輔 | 代之 | 次 |
| 郎 | | | 助 | 郎 |

一、乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル件

特別委員長

伯爵

柳澤保惠

委員

- | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 磐 | 高 | 瀨 | 北 | 佐 | 唐 | 三 |
| 瀨 | 野 | 川 | 島 | 伯 | 澤 | 宅 |
| 雄 | 岩 | 昌 | 多 | 矩 | 光 | 秀 |
| 一 | 三 | 世 | 一 | 矩 | 德 | 秀 |
| | 郎 | | | | | |

一、民族衛生ニ關スル件

特別委員長
委員

潮 惠之助
横 手千代之助
栗 山重信
龜 田豐治
古 瀬 安俊
武 藤喜一郎
津 野慶太郎
大 島辰次郎

北 島多一郎
磐 瀬 雄一
永 井 潜
瀬 川 昌世
三 宅 鏡一

一、農村衛生状態改善ニ關スル件

特別委員長
委員

伯 爵 柳 澤 保 惠

富 田 愛次郎
長 與 又 郎
三 田 定 則
岡 村 龍 彦
栗 山 重 信
岩 住 良 治
大 島 辰 次 郎
宮 川 米 次
佐 伯 矩
唐 澤 光 德
衣 笠 豐
横 手 千代之助

一、結核豫防ノ根本的對策ニ關スル件

特別委員長

委員

栗	藤	唐	佐	北	長	赤	宮	富	金	大	那	宮
山	井	澤	伯	島	與	松	川	田	杉	島	須	島
重	真	光	矩	多	又	小	米	愛	英	辰	之	之
信	信	德	矩	一	郎	寅	次	次	五	次	皓	助

大	平	原	男爵 山	小	中	西	矢	小	馬	國	田	古	宮
島	井	川	川	原	川	野	野	泉	淵	府	澤	瀨	島
辰	宣	泰	新	新	忠	次	恒	親	銳	田	錄	安	幹
次	英	一	三	三	郎	郎	太	彦	太	中	二	俊	之
郎			建	望	望	望	太	彦	郎	中	二	俊	助

養ニ御附託相成候乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル方策ニ就テハ差向キ須要都市ニ對シ小兒保健所ヲ設置スルヲ以テ適切ナル施設ト認メ豫テ及答申置候處其ノ後更ニ審議ノ結果尙別紙ニ基キ牛乳營業取締規則ヲ改正スルヲ以テ適當ト認メ議決候條此段及答申候也

昭和八年九月一日

乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル

特別委員長伯爵 柳 澤 保 惠

保健衛生調査會長男爵 山本達雄殿

(別紙) 牛乳營業取締規則改正省令案

牛乳營業取締規則ヲ左ノ通改正ス

牛乳營業取締規則

第一條 本令ニ於テ牛乳ト稱スルハ販賣ノ用ニ供スル全乳又ハ脱脂乳ヲ謂ヒ、乳製品ト稱スルハ販賣ノ用ニ供スル煉乳、脱脂煉乳、粉乳又ハ脱脂粉乳ヲ謂フ

牛乳營業者ト稱スルハ牛乳ノ搾取、處理若ハ販賣又ハ乳製品ノ製造若ハ販賣ヲ營業ト爲ス者ヲ謂フ
牛乳ノ處理ト稱スルハ牛乳ヲ濾過シ、小分シ且殺菌スルノ操作(生乳ニ在リテハ殺菌スルノ操作ヲ除ク)ヲ謂フ

第二條 牛乳(特別牛乳ヲ除ク)ノ搾取ノ營業ヲ爲サントスル者ハ搾取場所在地ノ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監、以下之ニ倣フ)ニ届出ヅベシ

第三條 特別牛乳ノ搾取若ハ其ノ他ノ牛乳ノ處理又ハ乳製品ノ製造ノ營業ヲ爲サントスル者ハ作業場所在地ノ地方長官ノ許可ヲ受クベシ

第四條 牛乳營業者ハ左ノ牛ヨリ牛乳ヲ搾取スルコトヲ得ズ

- 一 牛疫、炭疽、氣腫疽、牛肺疫、口蹄疫、狂犬病、乳房結核、重症肺結核、汎發結核、著シク榮養ヲ害セル結核諸症、牛痘、黄疸、放線菌病、胃腸炎、乳房炎、膿毒症、敗血症、尿毒症、中毒、腐敗性子宮炎又ハ熱性諸病ニ罹レル牛
- 二 エゼリン、モルヒネ、アトロピン其ノ他ノ「アルカロイド若ハ其ノ塩類、ホミカ、阿片末、ロート葉、ロート根、ヒヨス葉、マンダラ葉、リロ根、石炭酸、クレンゾール、巴豆油、ロカイ、ヨード若ハ其ノ塩類、砒素若ハ其ノ化合物、水銀若ハ其ノ塩類、銅若ハ其ノ塩類、アンチモン塩類、亞鉛塩類、鉛塩類又ハ之ヲ含有スル製劑ヲ服用シ又ハ注射シタル後三日以内ノ牛
- 三 細菌學的製劑ヲ注射シ著シキ反應アル牛又ハ炭疽ノ生菌豫防液ヲ注射シタル後九日以内ノ牛
- 四 分娩後七日以内ノ牛

第五條 牛乳營業者ハ乳牛ニシテ前條第一號ノ疾病若ハ同條同號以外ノ結核又ハ傳染性流産ニ罹レル

疑アリト認ムルトキハ直ニ獸醫師ノ診斷ヲ受クベシ
獸醫師前條第二號若ハ第三號ノ藥品ヲ乳牛ニ對シ内用トシテ處方シ又ハ注射シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ牛乳營業者ニ告知スベシ

第六條 牛乳營業者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル牛乳ヲ販賣シ又ハ販賣ノ目的ヲ以テ運搬若ハ貯藏スルコトヲ得ズ但シ第五號、第六號又ハ第七號ノ牛乳ヲ乳製品其ノ他ノ飲食物ノ製造原料ニ供スル目的ヲ以テスル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 腐敗シタルモノ
- 二 苦味アルモノ若ハ粘稠ナルモノ又ハ藍色、赤色其ノ他異常ノ色ヲ呈スルモノ
- 三 他物ノ混ジタルモノ
- 四 第四條ノ牛ヨリ搾取シタルモノ
攝氏十五度ニ於テ比重一・〇二八ニ滿タズ若ハ一・〇三四ヲ超エル全乳又ハ處理シタル全乳ニシテ百分中三・〇分以上ノ脂肪量ヲ有セザルモノ
- 六 攝氏十五度ニ於テ比重一・〇三二ニ滿タズ若ハ一・〇三八ヲ超エル脫脂乳又ハ百分中八・五分以上ノ乾燥物質ヲ有セザル脫脂乳
- 七 十立方ミリメートル中ノ細菌數二萬以上ノモノ

前項但書ノ場合ニ於テハ牛乳ノ容器ニ原料牛乳ナル旨ヲ明記スベシ

第七條 牛乳營業者ハ左ノ各號ニ該當スル全乳ニ非ザレバ之ニ特別牛乳ナル名稱ヲ附シテ販賣シ又ハ販賣ノ目的ヲ以テ運搬若ハ貯藏スルコトヲ得ズ

- 一 同一營業者ガ第十八條ノ規定ニ依ル牛舎ニ於テ結核又ハ傳染性流産ニ罹ラザル乳牛ヨリ搾取シ且同條ノ規定ニ依ル牛乳處理場ニ於テ處理シタルモノ
 - 二 生乳又ハ低溫殺菌方法ニ依リ殺菌シタルモノ
 - 三 百分中三・三分以上ノ脂肪量ヲ有スルモノ
 - 四 十立方ミリメートル中ノ細菌數五百以下ノモノ
- 牛乳ニハ前項ノ規定ニ依リ特別牛乳ナル名稱ヲ附スルノ外小兒用牛乳、優良牛乳其ノ他品質ヲ優良ナルコトヲ暗示スル名稱ヲ附シテ之ヲ販賣シ又ハ販賣ノ目的ヲ以テ運搬若ハ貯藏スルコトヲ得ズ
- 第八條 牛乳營業者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル乳製品ヲ販賣シ又ハ販賣ノ目的ヲ以テ陳列若ハ貯藏スルコトヲ得ズ

- 一 腐敗シタルモノ
- 二 他物(蔗糖ヲ除ク)ノ混ジタルモノ
- 三 第六條第一項第一號乃至第四號ノ牛乳ヲ原料ト爲シタルモノ

四 百分中八・〇分(蔗糖ヲ加ヘザル煉乳ニ在リテハ百分中七・〇分)以上ノ脂肪量ヲ有セザル煉乳又ハ百分中五五・〇分以上ノ糖量ヲ有スル煉乳若ハ脱脂煉乳

五 百分中二〇・〇分以上ノ脂肪量ヲ有セズ若ハ百分中五〇・〇分以上ノ糖量ヲ有スル粉乳又ハ百分中六〇・〇分以上ノ糖量ヲ有スル脱脂粉乳

第九條 牛乳營業者牛乳ノ殺菌ヲ爲サントスルトキハ低溫殺菌方法又ハ高溫殺菌方法ニ依ルベシ

地方長官土地ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ前項ノ殺菌方法ヲ其ノ一ニ制限スルコトヲ得

低溫殺菌方法ト稱スルハ攝氏六十三度乃至六十五度ニ於テ三十分間加熱スルコトヲ謂ヒ、高溫殺菌方法ト稱スルハ攝氏九十五度以上ニ於テ二十分間加熱スルコトヲ謂フ

第十條 牛乳營業者ハ第四條第一號以外ノ結核又ハ傳染性流産ニ罹レル牛ヨリ搾取シタル牛乳ハ之ヲ殺菌スベシ

第十一條 牛乳營業者ハ牛乳ヲ冷却保持スベシ但シ處理シタル牛乳ヲ貯藏スル場合ハ高溫殺菌方法ニ依リ殺菌シタルモノヲ除クノ外攝氏十度以下ナルコトヲ要ス

第十二條 牛乳營業者ハ第十八條ノ規定ニ依ル牛乳處理場ニ於テ處理(脱脂乳ニ在リテハ脱脂ノ操作ヲ含ム)シタル牛乳ニ非ザレバ之ヲ牛乳營業者以外ノ者ニ販賣スルコトヲ得ズ、
地方長官必要アリト認ムルトキハ飲食物ノ製造原料ニ供スル牛乳ニ付前項ノ規定ニ拘ラズ別段ノ定

ヲ爲スコトヲ得

第十三條 牛乳營業者ハ牛乳ヲ配布スル容器ニハ著色セザル透明ノ硝子壺ヲ用ウベシ但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル容器又ハ乳製品其ノ他ノ飲食物ノ製造原料ニ供スルモノノ容器ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ容器ニハ左ノ各號ノ事項ヲ明記シ之ヲ密閉スベシ

- 一 全乳(特別牛乳ニ在リテハ特別牛乳)又ハ脱脂乳ノ別
- 二 營業者ノ氏名(法人ニ在リテハ名稱)又ハ商號
- 三 販賣ノ月日又ハ曜日

四 生乳、低溫殺菌又ハ高溫殺菌ノ別

第一項ノ容器ニハ前項ニ掲グル事項ノ外小兒用其ノ他牛乳ノ品質ニ關スル記載ヲ爲スコトヲ得ズ

第十四條 牛乳營業者ハ乳製品ノ容器又ハ被包ニ左ノ各號ノ事項ヲ明記スベシ

- 一 煉乳、脱脂煉乳、粉乳又ハ脱脂粉乳ノ別並ニ蔗糖ヲ加ヘタルモノニ在リテハ加糖ノ文字
- 二 製造者(輸入又ハ移入ニ係ルモノニ在リテハ發賣者)ノ氏名(法人ニ在リテハ名稱)又ハ商號及其ノ主タル營業所所在地

三 製造(輸入又ハ移入ニ係ルモノニ在リテハ輸入又ハ移入)ノ年月

第十五條 牛乳營業者ハ亞鉛、銅又ハ其ノ合金ニテ製シタルモノヲ牛乳又ハ乳製品ノ容器、量器等トシテ使用スルコトヲ得ズ但シ牛乳又ハ乳製品ニ接觸スル部分ニ鍍錫其ノ他ノ方法ヲ施シ衛生上有害ノ虞ナキモノハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條 牛乳營業者ハ牛乳ノ容器、量器等ヲ使用セントスルトキハ之ニ適當ナル滅菌方法ヲ施スベシ但シ牛乳ヲ壘詰ノ儘高溫殺菌方法ニ依リ殺菌スル場合ノ硝子壘ハ此ノ限ニ在ラズ

牛乳營業者ハ牛乳又ハ乳製品ノ容器、量器等及牛乳又ハ乳製品ノ取扱ノ場所竝ニ乳牛ヲ常ニ清潔ニ保持スベシ

第十七條 牛乳營業者ハ傳染病患者(病原體保有者ヲ含ム)結核患者又ハ癩患者ヲシテ牛乳ノ搾取若ハ處理ノ各操作又ハ乳製品ノ製造ニ從事セシムルコトヲ得ズ牛乳營業者ニシテ其ノ患者ナルトキ亦之ニ準ズ

地方長官必要アリト認ムルトキハ牛乳營業者ニ對シ醫師ヲ指定シテ營業者又ハ其ノ從業者ノ健康診斷書ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第十八條 牛乳處理場及特別牛乳ノ用ニ供スル乳牛ノ牛舎ノ構造設備及管理方法ハ地方長官之ヲ定ム

第十九條 地方長官ハ當該官吏ヲシテ牛乳營業者ノ牛ヲ檢診セシメ又ハ牛乳若ハ乳製品ヲ取扱フ場所ノ構造設備ヲ檢査セシムルコトヲ得

第二十條 地方長官ハ第四條ノ牛、第六條第一項ノ牛乳、第八條ノ乳製品、第十條若ハ第十二條ノ規定ニ違反スル牛乳又ハ第十五條ノ容器ヲ用キタル牛乳若ハ乳製品ニ關シ明治三十三年法律第十五號

第一條ニ依リ處分スルコトヲ得本令ニ違反シタル牛乳營業者ニ關シテ亦同シ

第二十一條 地方長官ハ本令ノ執行ニ關シ明治三十三年法律第十五號第二條ノ職權ヲ行フコトヲ得

第二十二條 左ニ掲グル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 許可ヲ受ケズシテ第三條ノ營業ヲ爲シタル者

二 第四條、第六條第一項、第七條、第八條、第十條、第十二條、第十五條又ハ第十七條第一項ノ規定ニ違反シタル者

第二十三條 左ニ掲グル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第二條、第五條、第六條第二項、第九條第一項、第十一條、第十三條第一項、同條第三項又ハ第十六條第二項ノ規定ニ違反シタル者

二 第十三條第二項又ハ第十四條ノ規定ニ依ル表示ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ表示ヲ爲シタル者

三 第十七條第二項ノ命令ニ從ハザル者

四 第十九條ノ檢診若ハ檢査ヲ拒ミ又ハ妨ゲタル者

第二十四條 牛乳營業者ガ未成年者、禁治産者又ハ法人ナルトキハ本令ノ罰則ハ之ヲ其ノ法定代理人

又ハ代表者ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

牛乳營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第二十五條 第二條、第四條乃至第六條、第十條、第十二條及第十七條乃至前條ノ規定ハ直接販賣ノ用ニ供セザル牛乳ニシテ販賣ノ用ニ供スル飲食物ノ製造原料ニ充ツルモノニ之ヲ準用ス

附 則

第二十六條 本令ハ昭和 年 月 日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十三年內務省令第四十六號ハ之ヲ廢止ス

第二十七條 従前ノ規定ニ依リ牛乳ノ搾取又ハ乳製品ノ製造ニ付地方長官ノ認可ヲ受ケ本令施行ノ際現ニ牛乳ノ搾取、處理又ハ乳製品ノ製造ノ營業ヲ爲ス者ハ本令ニ依リ牛乳ノ搾取營業ノ届出ヲ爲シ又ハ牛乳ノ處理若ハ乳製品ノ製造ノ營業ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

本令施行前廳府縣令ニ依リ認可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シ本令施行ノ際現ニ牛乳ノ處理ノ營業ヲ爲ス者ハ本令ニ依リ牛乳ノ處理ノ營業ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第二十八條 前條ノ牛乳營業者ニ於テ本令施行ノ際現ニ營業ノ用ニ供スル牛乳處理場ハ本令施行後三

年ヲ限リ第十八條ノ規定ニ依リ地方長官ノ定ムル牛乳處理場ノ構造設備ニ據ラザルコトヲ得

第二十九條 本令施行前ノ製造ニ係ル乳製品ニ付テハ第八條第五號又ハ第十四條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

一、柳澤特別委員長報告

今ヲ去ル十一年前即チ大正十一年十一月二十四日開會ノ本會總會ニ於テ內務大臣ヨリ乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル方策如何ニツキ諮問ガ御座イマシタ、之ニ對シ特別委員長ガ出來、猶其内ヨリ小委員ヲ舉ゲ十分考究スルコトニナリマシタガ大震火災ノ爲調査ハ遅レマシタ、然シ其ノ後度々小委員會ガ開カレ成案ガ出來マシタノデ、特別委員會ニ提出セラレマシタ處、特別委員會ニ於テハ之レヲ適切ナル報告ト認メマシタガ、何分ニモ財政ノ現況ニ鑑ミ實行不可能ノ恐レアリト信ジマシテ、暫ク保留スル事トイタシ差當リ費用ノカ、ラヌ應急ノ方策ヲ執ル事ニ定マリマシタ(第九回報告參照)之ハ大正十三年十二月五日ノ事デアリマス、其後十數回モ小委員會ガ開カレマシタ未餘リ費用ノカ、ラヌ成案ヲ得マシタノデ、特別委員會モ之ヲ認メ大正十五年七月九日開會ノ總會ニ於テ特別委員長ヨリ差當リ須要都市ニ對シ小兒保健所ヲ設置シテモライタイト報告イタシマシタ、此位ノ程度ナレバ財政狀態窮乏ニシテモ堪ヘラレ得ルト信ジタカラデアリマス、總會ハ之ヲ認メマシタ、其後續キテ保育用牛乳ノ改善ニツキ小委員會ヲ八回モ開キ審議ヲ進メマシタ、然シ調査研究ノ未牛乳ノ問題ニ就テ獨リ保育用牛乳ノミナ

ラズ牛乳全體ノ取締上牛乳營業取締規則ノ改正ヲ妥當ト認メ、調査ノ方針ヲ弘メマシテ爾後幹事ノ手許ニ於テ右改正規則案ヲ研究イタシマシタ、元來此規則ハ明治三十三年四月七日發布以來既ニ三回改正セラレマシタニ係ラズ猶相當改正スベキ條項モアリ、加之色々調査ヲ要スルコトモ多クアル事ヲ發見イタシマシタ、其間當局者ノ更迭等モアリ脱稿スルマデニ遷延ニ遷延ヲ重ネマシタガ、先般漸ク幹事ノ手許ニ於テ改正案ヲ得マシタノデ此幹事案ハ本年七月十三日先ヅ特別委員會ニ提出セラレマシタ、特別委員會ハ七月十三日、十八日、十九日、二十一日、都合四回開會イタシ始メ當局者ノ説明ヲ求めマシタ上、委員諸君ヨリ種々質問モ出マシタガ相當審議ノ末萬全ヲ計ル爲專門家ヨリ成ル小委員ヲ作り、此等ノ方々ヲ煩ハシテ特ニ専門的ノ審議ヲ盡サシムル事ト致シマシタ、小委員會ハ八月四日一回開會セラレマシタガ、大體ノ質問ハ既ニ特別委員會ニ於テ盡サレテ居リマスノデ、極メテ専門的ノ修正ガ加ハリ決定ヲ見マシタノデ、再ビ九月一日特別委員會ヲ開キ是等ノ案ニ關シ審議ヲイタシマシタ、席上委員ヨリ意見ノ開陳モアリマシタガ、結局御手許ニ御座イマス通りノ案ガ可決サレマシタ、猶審議中ニ委員諸君ト共ニ二回實地ノ視察ヲイタシマシタ、一ハ牛乳搾取場ノ見學デアリマシテ千葉縣下習志野ト中山ニ參リマシタ、二ハ牛乳處理場ノ見學デアリマシテ此ハ東京市内ノ二ヶ所ニ參リマシタ、猶私ハ衛生局關係者ト共ニ田園調布ノ關根牧場及ビ宮内省ノ牛乳搾取場ヘモ見學ニ參リマシタ、今次ニ少シク此改正案ニツキ大體ノ説明ヲ加ヘ御賛成ヲ願ヒタイト思ヒマス

本規則改正案ハ二十九條ヨリ成ツテ居リマスガ此内二十六條以下ハ附則デアリマス
 今回ノ提案ハ省令全體ニ互ツテノ改正案ト認メテ宜シイノデアリマス、其骨子トモ申スベキ點ハ次ノ五ヶ條ニ盡キテ居リマス

一 牛乳ノ生産費ノ低減ヲ期スル事デアリマス
 ソレニハ牛乳ノ搾取營業ニ關スル物的設備ノ制限ヲ撤廢イタシマス、又同時ニ法規上ノ手續ヲ簡易ニ致シマシタ

二 牛乳營業ノ物的設備ニ對スル取締上ノ主眼ヲ處理營業ニ移シ併セテ Milk Plant ノ如キ專ラ牛乳ノ處理販賣ヲ目的トスル營業ニ對スル取締ノ徹底ヲ期スル事デアリマス

三 牛乳ヲ其ノ品質ニ依リ特別牛乳及其他ノ牛乳ノ二種ニ分チ特別牛乳ニ對シテハ特ニ嚴格ナル取締ヲ設ケ育兒上其他ノ消費者ノ利便ニ資スル事デアリマス

四 牛乳營業者ノ取扱上ノ注意ヲ周到ナラシメ以テ牛乳ノ品質ノ改善ヲ圖リマス

五 乳製品ノ一部ノ品質規格ヲ制定シテ品質ノ改善ヲ圖ル事デアリマス
 是等ノタメ新ニ條文ノ加ハルノモアリ、補足セシ處モアリ、又削除セシモノモアリマス、此他條文ノ整理ナド相當ニ御座イマス、之ハ對照表ヲ御覽ヲ願ヒマス、改正法令ハ矢張省令トイタシマシタ、此決定後數ヶ月位ニ實行ノ見込ナルガ是迄トモ地方ニ對シテハ其實行ニ關シ種々訓示スル所アリ猶其

此度モ委細ノ事項ヤ細カキ取締ノ事柄等ハ地方廳ニ一任スル事トナリマス、中ニハ相當細カキ事柄、例ヘバ牛乳場ノ栓及ビ其覆ヒニ關スル件、配達人ノ健康上ノ注意ニ關シ相當細カキ事迄省令ニテ出シテ貫ヒタキ御意見モ出マシタガ、其ノ邊ノ事ハ地方ニ一任シタガ反テ宜シカラウ、左程細カキ事マデ省令ニ出スニ及ブマイト云フ説ガ多數ニ見受ケマシタ、而シテ牛乳ノ原始の酸度及高温殺菌方法竝ニ山羊ノ乳ノ取締問題等ハ將來ノ研究ニ待ツ事ニナリマシタガ、先ヅ取締リ居レル分ノ改正トシテハ此程度デ可イト思ヒマス

今回ノ改正案通過ノ上ハ本省ニ於ケル審査關係ノ人々ノ手ニ涉リ其後中央衛生會ニ上程セラル、次第ナルガ、既ニ本特別委員會ニ於テ各専門家ニ依リ十分練リニ練フレタ上ニ今回新ニ委員ニ任命セラレタル兩大家ノ綿密ナル御審査ノアツタ事デアリマスカラ、幸ヒ可決ノ上ハ其後ニ於テ字句ノ修正位ハアルトシテモ全體ノ骨子ニ於テ變更ナク實行セラル、運ビトナリマス事ハ本會ノ面上疑ナキ事ト信ジマス、而シテ此改正省令ガ發布サレタル以上、ソウ急速ニ將來改正ガ出ルトハ思ヒマセン、當局者モ其邊ノ考デアルト思ヒマス

私ハ逐條ノ質問ヤ其應答ノ次第ハ凡テ省略シタイト思ヒマス、新シイ字句ノ挿入ヤ又修正字句ノ事ヤ、追加事項等ニ關スル質疑應答ナド相當御座イマスガ此等ハ別ニ一々申上ンデモ宜シイカト思ヒマス、但シ此等ニ付御質問ガ御座イマスナラバ私ノ及バヌ事ハ専門委員ヲ煩ハシタク存ジマス、茲ニ少シク

申上ゲタキハ殺菌ノ事デアリマス、牛乳ハ生乳ガ無論宜シイトシマシテモ全部生乳ヲ配給スルハ不可能ナラン、依テ茲ニ殺菌作用ガ必要ニナツテマイリマス、此殺菌ニ低温ト高温トガアルガ今回ノ改正案中ノ第七條ハ現行省令ニナイノデ此入ツタ事ハ最モ必要ト思フ、之ハ特別牛乳ニ關スル規定デ此牛乳ハ生乳カ低温殺菌シタル者ニ限ツテ居ル、高温殺菌ハ此場合許サレヌノデアアル、然シ此研究ハ前一寸申上ゲタ如ク將來ノ研究問題トナリマシタ、脂肪量モ百分中三・三以上、細菌數モ十立方ミリメートル中五百以下ノモノトナツテ居ル、此ノ以外ノ牛乳ノ殺菌ニハ低温デモ高温デモヨイ事ニナツテ居ル、低温高温ノ事ハ第九條ニ出テ居リマス、此ハ新ニ定メタノデアアル、是等ノ取締リ其他改正省令案ノ所々ニアル命令事項ノ違反者ニ付テハ罰則ガ随分綿密ニ規定セラレテ居リマス、之ハ現行省令ニモアル事デスガ改正案ノハ餘程綿密ニナツテ居リ此ノ意ヲ體シテ地方デ十分取締リヲナス譯デアリマスカラ、中央ニ於テアナガチ細カイ所マデ規定セズ共效果ハ十分アルト思ヒマス、第十條、第十一條、第十二條、第二十五條ハ何レモ新ナル制定デ、病牛ノ牛乳ノ殺菌、牛乳ノ冷却保持、處理牛乳ノ販賣、直接販賣ノ用ニ供セザル牛乳ノ處置ニ關スル件ヲ定メマシタモノデ是亦必要ナル規定ト存ジマス

此省令ノ改正ニ依テ附隨シテ參ル衛生局長ノ通牒文ヤ聯關セル省令ナド亦多少カハル事ト思ヒマス、之デ大體ノ報告ヲ終リマス皆様ニ於カセラレマシテモ何卒専門委員ノ調査ヲ御信賴ノ上御贊成アラシム事ヲ御願申シマス、最後ニ申上ゲタキハ何分私ハ専門家デ御座イマセンカラ只今ノ報告中或ハ誤謬ノ

點モアルカモ存ジマセン、此邊ハ何卒專門委員ノ方ヨリ御訂正ヲ願ヒマス

一、會長 質問又ハ意見アラバ此ノ際發言アリタシト述ブ

一、長與委員 本改正案ハ專門委員ガ十分研究セラレテ學術的根據ノ上ニ立ツハ勿論衛生行政上、社會政策上、經濟上種々ナ方面ヲ篤ト考慮セラレテ立案セラレタモノデ之ニ依テ乳幼兒ノ死亡率低減ノ目的ガ或程度マデ達成セラル、ト思フカラ即決可決アリタシト發議シタルニ對シ
案委員賛成ノ意ヲ表ス

次デ衣笠委員ト藤原幹事、池田技師トノ間ニ牛乳ノ品質ニ關シ質疑應答アリ最後ニ原委員ヨリ本改正案ノ實施セラル、曉牛乳ノ品質ノ改良トイフ目的ハ達成セラルベキモ爲ニ市價ガ高クナル如キ虞ナキヤト問ヒ之ニ對シテ藤原幹事ヨリ其ノ點ハ立案ニ際シ十分考慮ヲ用ヒタレバ牛乳ノ値段ハ一般的ニ廉クナルトモ高クナルヤウノコトハナキ見込ト答フ 此ノ時採決ヲ望ムト呼ブ者アリ
會長 別ニ異議ナキト認ムルヲ以テ委員長ノ報告通リ本改正案ヲ可決スル旨ヲ述ベ閉會ヲ宣ス
午前十一時散會

第四節 特別委員會議事大要

一、乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル特別委員會

第一回

昭和八年七月十三日午後一時三十分ヨリ内務省會議室ニ於テ開會

出席者 委員長 柳澤伯爵

高野、瀨川、北島、佐伯、唐澤、三宅(秀)、武藤、津野各委員

藤原、白松、南崎、野邊地各幹事

龜山事務官

池田、草間、樫田、勝俣各技師

議事ノ經過

一、委員長開會ヲ宣シ本日特別委員會ヲ開クニ至リタル次第ニツキ次ノ通り述ベラル
大正十一年十一月二十四日開會ノ保健衛生調査會總會ニオキマシテ、内務大臣ヨリ乳兒及幼兒ノ死亡率低減ニ關スル件ニツキ御諮問ガアリマシタ、之ガ爲メ特別委員ヲ舉ゲテ審議ノ結果一先ツ成案ヲ得、大正十五年七月九日開會ノ保健衛生調査會總會ニオキマシテ差當リ須要都市ニ對シ小兒保健所ヲ設置スベキ旨ヲ答申致シマシタ、其ノ後更ニ保育用牛乳ノ改善ニツキ小委員會ガ出來八回集合シテ審議ヲ進メマシタガ、牛乳問題ニ就テハ獨リ保育用牛乳ノミナラス牛乳全般ノ取締上牛乳營業取締規則ノ改正ヲナスコトヲ妥當ト認メ、其ノ後ハ小委員會ヲ開カズ幹事ノ手許ニ於テ右改正規則

案立案中ノ處、此ノ問題ハ相當複雜ニシテ研究調査ヲ要スルコト多ク其ノ他種々ノ事情ヲ途切レテ居リマシタガ、今回漸ク改正案ヲ得マシタノデ過般議案トシテ各位ニ配布セル次第デアリマスガ、本日ハ右ニツキ御審議ヲ煩シタイノデアリマス、尙立案ノ要旨ニ就テハ其ノ局ニ當リマシタ幹事ヲシテ説明イタサセマス

一、藤原幹事ヨリ武藤、津野、大島ノ各委員本特別委員會ノ委員ニ指名セラレタル旨報告

一、藤原幹事ヨリ牛乳營業取締規則ノ改正趣旨ニツキ別紙改正要旨及要項ニ依リ説明

一、別紙牛乳營業取締規則改正省令案ニ對シ全般ノ質疑應答アリタル後逐條審議ニ入り第一條ヨリ第六條マデ審議シ次回ハ來ル七月十八日開會ノ上續行スルコト、シテ午後四時散會

(別紙)

牛乳營業取締規則改正要旨

- 一、牛乳ノ搾取營業ニ關スル物的設備ノ制限ヲ撤廢スルト共ニ法規上ノ手續ヲ簡易ナラシメ以テ牛乳ノ生産費ノ低減ヲ期スルコト
- 二、牛乳營業ノ物的設備ニ對スル取締上ノ主眼ヲ處理營業ニ移シ、併セテ「ミルクプラント」ノ如キ專ラ牛乳ノ處理販賣ヲ目的トスル營業ニ對スル取締ノ徹底ヲ期スルコト
- 三、牛乳ヲ其ノ品質ニ依リ特別牛乳及其ノ他ノ牛乳ノ二種ニ區分シ特別牛乳ニ關シテハ特ニ嚴格ナル

取締ヲ加ヘ以テ保育上其ノ他ノ消費者ノ利便ニ資スルコト

四、牛乳營業者ノ取扱上ノ注意ヲ周到ナラシメ牛乳ノ品質ノ改善ヲ圖ルコト

(別紙)

牛乳營業取締規則改正要項

- 一 牛乳ヲ品質ニ依リテ特別牛乳(品質優良ナルモノ)及普通牛乳ノ二種ニ分チ取締規定ヲ二段ニ區分スルコト(第三條、第三條、第六條、第七條、第十三條、第二十四條)
- 二 特別牛乳以外ノ牛乳ノ搾取營業ヲ届出制度ニ改ムルコト(第二條)
- 三 牛乳ノ處理(濾過、小分、殺菌)營業ヲ許可營業ト爲シ「ミルクプラント」ノ如キ專ラ牛乳ノ處理、販賣ヲ目的トスル營業ニ對スル現行規則ノ監督上ノ欠陥ヲ除去スルコト(第三條)
- 四 搾取ヲ禁ズル牛ノ範圍ニ改正ヲ加フルコト(第四條)
- 五 一定ノ疾病ニ罹リタル疑アル乳牛ニ付テハ牛乳營業者ニ於テ獸醫師ノ診斷ヲ受クベキモノトスルコト(第五條)
- 六 普通牛乳ノ規格ヲ改正シテ一定數以上ノ細菌ノ存スル牛乳ノ販賣ヲ禁止スルト共ニ乳製品其ノ他ノ飲食物ノ原料ニ供スルモノニ付テハ比重、脂肪量又ハ細菌數ニ於テ規格ニ合セザルモノト雖販賣スルコトヲ得ル旨ノ除外規定ヲ設クルコト(第六條)

七 特別牛乳ノ規格ヲ定メ且其ノ搾取、處理ニ關スル制限ヲ設クルト共ニ優良牛乳ノ名稱ヲ統一スルコト(第七條)

八 乳製品ノ規格ヲ改正シテ蔗糖ヲ加ヘザル煉乳ノ脂肪量ノ制限ヲ低下スルト共ニ新ニ粉乳及脱脂粉乳ノ規格ヲ定ムルコト(第八條)

九 牛乳ノ殺菌ニ關スル規定ヲ設クルコト(第九條、第十條)

一〇 牛乳ノ冷却ニ關スル規定ヲ設クルコト(第十一條)

一一 一般需要者ニ販賣スル牛乳ハ地方長官ノ定ムル構造設備ヲ有スル牛乳處理場ニ於テ處理シタルモノタラシムルコト(第十二條)

一二 牛乳ヲ配布スル容器ノ制限ヲ設クルト共ニ牛乳及乳製品ノ容器又ハ被包ノ表示事項ニ改正ヲ加フルコト(第十三條、第十四條)

一三 牛乳ノ容器、量器、調製器ノ滅菌ニ關スル規定ヲ設クルコト(第十六條)

一四 法人ニ對スル罰則ハ其ノ代表者ニ適用スルコトニ改ムルコト(第二十三條)

一五 牛乳處理場ノ構造設備ニ關スル制限ハ地方長官ニ於テ定ムルコトトスルト共ニ普通牛乳用ノ牛舎(搾取場)ノ構造設備ニ關スル制限ヲ撤廢スルコト(第二十四條)

一六 直接販賣ノ用ニ供セザル牛乳ト雖販賣ノ用ニ供スル飲食物ノ原料ニ供スルモノニ付テハ本令中

ノ關係規定ヲ準用スルコト(第二十五條)

一七、從前ノ規定ニ依リ牛乳ノ搾取又ハ乳製品ノ製造ニ付地方長官ノ認可ヲ受ケ本令施行ノ際現ニ其ノ營業ヲ爲ス者ハ何等ノ手續ヲ用キズ、本令ニ依リ牛乳ノ搾取ノ届出ヲ爲シ又ハ牛乳ノ處理若ハ乳製品ノ製造ノ許可ヲ受ケタルモノト看做スコト

本令施行前廳府縣令ニ依リ認可ヲ受ケ又ハ届出ヲ爲シ本令施行ノ際現ニ牛乳處理ノ營業ヲ爲ス者ハ何等ノ手續ヲ用キズ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做スコト(第二十七條)

一八、前條ノ牛乳營業者ニ於テ本令施行ノ際現ニ營業ノ用ニ供スル牛乳處理場ハ本令施行後三年間地方長官ノ定ムル構造設備ニ改造スルコトノ猶豫ヲ爲スコト(第二十八條)

一九、本令施行前ノ製造ニ係ル乳製品ニ付テハ本令中粉乳及脂肪粉乳ノ規格並ニ容器被包ノ表示事項ニ關スル規定ヲ適用セザルコト(第二十九條)

(別紙) 牛乳營業取締規則改正省令案

現行牛乳營業取締規則 (參考)

第一條

本令ニ於テ牛乳ト稱スルハ販賣ノ用ニ供スル全乳又ハ脱脂乳ヲ謂ヒ、乳製品ト稱スルハ販賣ノ用ニ供スル煉乳、脱脂煉乳、粉乳又ハ脱

第一條

本則ニ於テ牛乳ト稱スルハ販賣ノ用ニ供スル全乳及脱脂乳ヲ謂ヒ、乳製品ト稱スルハ販賣ノ用ニ供スル煉乳、脱脂煉乳及